

音更町男女共同参画計画審議会会議結果（要旨）

会議名	第4回音更町男女共同参画計画審議会
開催日時	平成26年8月29日（金） 午後7時から午後9時30分
開催場所	音更町役場庁舎4階401・402会議室
委員出席者	岡庭会長、山本会長職務代理、中塚委員、酒井委員、相澤委員、植田委員、池田委員、鳴海委員、山田委員、石山委員
町側出席者	高木企画財政部長、渡辺企画課長、定村企画調整係長、高田企画調整係主任、阪本企画調整係主任、松原企画調整係主事
議題・諮問内容	<ol style="list-style-type: none"> 1 会長あいさつ 2 議第 (1) 音更町男女共同参画計画の体系（案）について 3 その他
会議資料	（参考資料）男女共同参画に関する十勝毎日新聞記事
出された主な意見等	<p>【音更町男女共同参画計画の体系（案）の施策の方向に対する意見】</p> <p>「7★男性にとっての男女共同参画の意義の理解浸透」について 委員：男女共同参画の理解浸透はどのように進めていくのか疑問に感じました。</p> <p>会長：国は、男性にとっての男女共同参画を全面に出しており、男性側が変わらないと男女共同参画の推進はできないとも言われています。特に「イクメン」や「イクボス」という言葉があるように、職場で育児休暇が取得しやすい環境、男性上司の意識改革等も必要ではないかと言われています。家庭における男性の役割なども含め、まずは男性が理解していくということです。</p> <p>委員：男性が変わらないとこの計画は進まないで、1番でも良いくらいの項目だと思います。ただ、施策の方向にもう一つくらい何かあれば良いのかなと。1つの方針に1つの施策だとあまり力が入っていないかのような感じがしました。</p> <p>委員：男性にだけ理解させるというのはできるのでしょうか。男性も女性もお互いに理解しないと難しいと思います。例えば、女性ばかり権利を主張したら男性は「では、義務についてはどうなの」と思います。現状がそうではないから、一方だけに「理解してください」といっても難しいと思います。</p> <p>会長：今までは、女性に対して男女共同参画が発信されていた経緯がありましたが、それだけだと言うように推進されません。職場では男性の管理職が多いので、女性に対する男性側の理解をもう少し働きかける必要があります。</p> <p>「9母性の重要性の認識の浸透」について 委員：「母性」の表現が何か引っ掛かりましたが、確認したら帯広市も中札内村にも同じ表現が使われていました。母性って「女性ならみんな当たり前にあるでしょ」と思われたら心外としましたが、その中身を読んだら「母性保護の重要性」との意味でしたので納得できました。もししたらパッと見た時に私のように感じる人もいないかなと思います。</p> <p>委員：内容的には「母性保護」に関することなので、「母性保護の重要性の認識の浸透」にするのはどうですか。</p> <p>会長：では、「母性保護の重要性の認識の浸透」にするということ進めたいと思います。</p> <p>「26★農業における6次産業化の促進」について 会長：中札内を例にしますと、施策の方向で「経営活動等への女性の参画支援」というのがあり、その基本的な方針に「農業・商工自営業等における男女共同参画の促進」となっていて、経営活動をひとつにまとめた形になっています。音更町では「6次産業化の促進」となっており、農業分野</p>

における男女共同参画での意識とかではなく、具体的に農業を6次産業化していく過程の中で、男女共同参画の視点を導入したら活性化したり、スムーズに進んで行くのではないかと考えています。

委員：「家族経営協定」とは、労働時間、労働報酬、休日などの取り決めをすることだと思いますが、例えば、自分夫婦と両親、兄弟の夫婦が加わるなど人数が多ければできると思いますが、二世帯だと難しいと思います。

委員：男性の方が「男女の雇用は平等である」と自覚しないまま計画を決めても、男性の方に不満が出るのではないのでしょうか。女性を守るために決めることはすごく良いことだと思いますが、まだ、世の中がそのように変わっていないので難しい気がします。

会長：計画で決めたことが実現できるかは難しいかもしれませんが、我々は、これから計画を立てる訳ですから「それが現実になるといいですね。」との思いで計画に盛り込むことは良いことと思います。

「30★食育の推進」について

事務局：昨年、食育に関する基本計画を策定して取り組んでいます。また、本町は自校給食ですから、地場の食材を使った給食を子ども達に提供する取組も行っていますので、それらを含めて男女共同参画の知見があって良いのではないかと追加させていただきました。

委員：音更町は、農産物もたくさん作っていますし「食育の推進」は必要な項目と思います。

「33高齢者や障がい者に対する社会参画・自立支援」について

委員：昔から音更町は、障がい者と高齢者の政策に力を入れているので必要な項目と思います。

「34男女共同参画の視点を取り入れた防災体制の整備」について

委員：「男女共同参画の視点を取り入れた防災体制の整備」だと、少し意味が理解しづらいのですが。

事務局：防災の備蓄品についてはこれまで女性に関連する物が考えられていなかったことがあり、過去の災害経験等を踏まえ、女性の視点からの備蓄品も準備するという事です。例えば、避難所などでいますとつい立てを設置したり、女性専用の着替える場所やトイレなどを準備するなど、女性がストレスを感じにくくするように女性の視点で日頃から備えたりする必要があるということです。

委員：各地区で自主防災が立ち上がっており、「誰もが安心して暮らせる環境整備」に必要な項目と思います。

委員：自主防災を立ち上げて、実際は訓練等に人が集まらなかったりします。防災についても男女共同参画の視点を取り入れることで変わっていくと思いますし、若い方達も興味を持ってくれるのではないかなと思います。

委員：防災体制の整備の話がありましたが、音更町は町民の防災意識に関するアンケート調査などは実施していますか。

事務局：音更町は毎年「まちづくり町民アンケート」を実施しております。まちづくりの分野でどこに重点を置きますかとの設問があり、その中の一部に「自然災害に対する防災体制」がありますが、防災に関する個別のアンケートは実施していないと思います。

委員：町民のみなさんがどのような意識を持って防災を考えているのか解りませんが、意識づくりの方にも力を入れたら良いのかなと思いました。テレビのニュースでも報道されていましたが、近くで竜巻が発生して危険な状況なのに携帯で動画を撮影していたり、あと、町から防災無線が入った時は既に手遅れってこともありましたから、個人で防災グッズを家に備えるとかの意識を高めていく方が良いのかなと思います。

